

# 飯伊民医連 だより

9月

2023  
No.250  
隔月刊



▲平和案内人のガイド



折り鶴を奉納▶

## 原水爆禁止 2023年世界大会

▲世界大会参加者  
後列左から久保敷、北原、熊谷、寺澤  
前列左から古田、金田、加藤

### 長崎で「核廃絶」の思いより強く

原水爆禁止2023年世界大会が、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために」をテーマに8月4日から8日に被爆地である広島市、長崎市で開催されました。

4年ぶりに海外と全国からの参加者が対面で集い、この飯伊民医連からは事業所、労働組合から7名を代表派遣し長崎集会に現地参加しました(長崎集会は海外代表と全国からの参加者を合わせ

4,300人)。今年5月、岸田首相はG7広島サミットで核抑止力を肯定し、核廃絶を永遠の未来の課題に追いやる「G7広島ビジョン」を表明しました。今年の世界大会はこれに対して厳しく批判する意見が相次ぎ

ました。カナダ在住の被爆者・サーロー節子さんは自らの被

爆体験を語り、「安全保障環境」を理由に「核を頼るのは仕方がない」という岸田首相を厳しく批判、広島市の松井一実市長も「核抑止力は人類の存続すら危うくする」と訴えるメッセージを大会に寄せ、「核抑止力論は破綻している」ことを明らかにしました。採択された「長崎からのよびかけ」は核兵器のない世界実現へ、日本政府に核兵器禁止条約への参加とともに、「第2回締約国会議に少なくとも参加し開始された被害者支援への国際協力に加わる」ことを求め、そのために「共同しただちに行動に立ち上がる」「被爆者とともに、若い世代とともに、未来を切りひらいていきましょう」と呼びかけています。世界大会に先立ち、飯田下伊那すべての自治体をつなぐ平和行進が6月25日と7月1日に行われ、延べ418人の参加でアピールしました。引き続き世界大会の成果を力に行動していきたいと思えます。

健和会組織課  
(飯伊原水協事務局) 近藤 健

※4面に参加者の声を掲載



健和会は今年12月3日で創立50周年を迎えます。この記念すべき年に今までの歴史を振り返り、未来に残していくために「50周年史」の制作が始まりつつあります。7月22日、鼎公民館にて編集委員と健和会病院の創立から発展に関わってきた元職員の方などゲストを招いて座談会を行いました。

## 創立50周年に向けて



実は最初の病院名は南信共立病院という案だったことや、透析患者さんの強い希望でハワイ旅行を実現させたときの苦労話など、初めて聞くエピソードが次々と出されました。

1日かけて当時を思い出してもらいたくさんの話が出てきました。今後さらに職員の協力を得ながら50周年史の完成を目指します。

健和会 専務理事  
織野 孝司

## あかり 幸せの灯

健和会病院病棟はコロナ禍の2022年6月から職員の提案で面会中止の状況下の入院患者さんに少しでも人とのつながりや喜びを感じてほしいと、3つの病棟が毎月季節に合わせて看護職員とリハビリ職員がレクリエーションを、栄養科がデザート提供を行う「幸せの灯」を行っています。コロナ禍でしたので、感染対策もしながら、楽しんで満足してもらえような内容を考え、今も継続しています。

コロナ禍の入院は、家族や知人など人とのつながりが途切れ、同室者でも話しができないなど孤独になりがちな環境になります。また、職員も感染対策に高い意識を持ちながら部署間の移動が必要時だけになるなど、コミュニケーションが減っていました。この企画を通じて、患者さん、職員も笑顔を見ることができました。

### \*\*\* 管理栄養士の感想

普段の食事摂取量が少ない患者さんも、この時のデザートで自分で選び喜んで召し上がった。ただいた時は栄養科から提供することができて良かったと思います。レクリエーション後に患者さんが泣きながらデザートを召し上がっていました。長い入院生活の中のわずかな時間を喜んでいただけたことは大変うれしく思います。これからも『おいしいよ!』と言っていたいただけるようなメニューを提供していきたいと思えます。

### \*\*\* 調理師の感想

デザートメニューを考えたいです。食形態にあった食材を選び、試作してから提供しています。盛り付けやトッピングも工夫し、見た目でも喜んでもらえるようにしていきます。『幸せの灯』を通して日々の食事も満足していただけるように調理を行っています。



最初はこの企画が職員の思っただけの自己満足の取り組みになってしまっているのではないかと不安がありました。職員一人一人が協力して行うことで、この企画は継続できると感じます。患者と職員のためにこのような取り組みは大切だと感じました。

健和会病院栄養科  
畑山 洋子



## 中学生が 職場体験

コロナ禍で中止していた中学生の職場体験を2年ぶりに再開し、7月4日～6日に豊丘中2年生3人、7月5日～6日に喬木中3年生3人の職場体験学習を受け入れました。

当日は交流も兼ね2校合同で座学を行い、高齢者施設で働くことの意味や「福祉とは何か?」「はやしの杜の各事業所の役割」などを学びました。生徒さんたちは自身の祖父母と照らし合わせながら福祉を身近に捉え、考えることができていました。現場体験は車椅子を操作する側・乗車する側の体験、シーツ交換、寝たきり体験などを行いました。座学・利用者体験・利用

者さんとの関わりを体験する中で、人と関わる仕事の大変さ・難しさと同時に、楽しさ・やりがいを感じた生徒さんもいました。最終日の振り返りは「すごく楽しかった!」「もう一週間ここにいたい!」と満面の笑顔で話してくれた生徒さんの顔を思い出します。

コロナが5類に変わり社会全体がウィズコロナとして動き出しているなか、高齢者の「暮らしの継続」を支えるはやしの杜としては社会の動きと同じようにコロナ前のような活動をすべて再開していく

ことは難しいですが、地域に開かれた施設・地域に求められる施設であるために「利用者さんも地域の中で生きる一人」として、できることから取り組んでいこうと心新たにできた中学生との交流になりました。

介護老人保健施設はやしの杜

副施設長 市瀬 和樹

## 自治体懇談

ハートヒル川路は3年前から年度初めに自治体との懇談を行っています。今年度は飯田市、松川町、高森町、豊丘村、喬木村、下條村、阿智村、阿南町、泰阜村の9市町村と行いました。懇談は主に、ハートヒル

的に行いました。

現在、事業所独自サービスで実施している契約入所（自費ショートステイ）を、介護保険外でも支援が必要な地域の方にご利用いただけることを説明し、契約入所はあくまでも入所に欠員が出た時の空床利用であるので、そのような運用にならなくてもいいように、しっかりと入所者を措置して満床にしてもらえることが一番であることを伝えました。

川路は養護老人ホームであり、老人福祉法を根拠に措置制度により運営されている施設で、運営費も措置費という公費、入所者も自治体（広域連合）の判定を通った対象者の紹介となるため、自治体担当者に現在の運営状況等を理解してもらうこと。全国的に言われている養護老人ホームの『措置控え』をこの地域で行ってほしくないことも含め、安定的に運営できるように配慮していただくことを目指しました。

ハートヒル川路 事務長

川越 大輔

# 参加者の声

これまでも平和への集いや勉強会に参加させてもらいましたが、自分の中では一番参加したことを伝えたい気運が高まる経験でした。

原爆資料館では改めて核兵器の非人道性や残酷性を知ることができました。今に至るまで後遺症に苦しむ方がいることも違法な兵器であることは明らかです。また、人類だけでなく全ての動植物にとっても脅威となる兵器であるという言葉が印象的でした。

また、世界大会では各国代表スピーチを聞いて核廃絶の願いは特定の国や思想に関わらず世界の声だと改めて感じました。自分よりも若い大学生などが現在の核廃絶に後ろ向きな世の中の動きに疑問を持ち、声を挙げる姿を見て自分にも何かできないか考えさせられました。

一刻も早く核兵器禁止条約の日本政府からの批准が必要です。そのために職場でも経

験したことを伝え署名など通して連帯し、声を挙げていきたいです。

はやしの杜介護 北原 進

今まで、原爆が落とされた時間、場所しか知りませんでした。世界大会に参加して、核兵器はとも恐ろしいことだと知ることができました。原爆が落とされた場所や原爆資料館に行き、投下される前

と後の現状を見ました。自分達よりも幼い命が奪われ食べ物、住むところもなくなただ呆然と立ち尽くす日々がずっと続いていたと思うと胸が痛くなります。また、原爆が落とされた場所の近くにあった建物を折り曲げてしまうほどの力で、一瞬にして何もかもを奪ってしまうことはとても恐ろしいし、残酷だと感じました。

学びを通して、私達は一体どのような動いていけばいいのか、世の中に広めていけばいいのかを改めて考え、署名活動などの小さな積み重ねをすることで共に生き、平和で安全な世の中になっていけばよいのではないかと感じました。

ゆいの里介護 熊谷 礼珠

今まで原爆のことを話で聞いていたよりもっと深いことをたくさん知れました。中でも被爆者の方の話は想像よりもっと悲惨で心が痛むような内容ばかりでした。残されてしまった、生き残ってしまったことさらに辛い思いをされ、亡くなられた方のことや当時の被爆したことを語って下さいました。

世界大会の参加者には核兵器反対の運動をされている若い方々がたくさんいました。私達もこれから被爆者の方々が語り継いでいることを次の世代へと繋げていかなければならないと強く感じました。

ゆいの里介護 加藤 咲帆

私が見て感じたものは、一瞬にして奪われた人々の生活、差別、貧困、人間らしく生きることも許されない戦争の悲劇でした。また、世界大会で注目したのは、海外の代表者や学生のスピーチでした。核兵器使用の緊張が高まっている今、広島、長崎の教訓を忘れず世界中で活動をしている方々の言葉に感銘を受けました。グラウンド・ゼロは緑に囲まれ当時の惨状は考

えられないほど平和な時間が流れていました。核のない世界、平和への願いを強く感じたい貴重な経験となりました。

健和会看護 久保敷 彰子

爆心地や平和資料館などを見て、数十年前にこんな悲惨で残酷なことが起き、その誤ちを繰り返さないことがこの国の使命なのに、何故同じような悲劇を繰り返そうとしているのかとても憤りを感じます。また、佐世保基地の周辺視察では、自国防衛のために配備されているための船がなぜか攻撃機能をもっているという事実を知りとても驚愕しました。

これから私たちにできることは今回で得た事実などを、今度は私達が新たな語り手となり、まわりに発信していくことが大事だと深く思いました。

健和会リハビリ 金田 蓮

被爆地の遺跡を巡り、78年前の原爆投下の事実を身をもって学びました。また、被爆者の話から、78年は最近のことだと感じました。被爆の身体への影響はなお残っています。

す。原爆の悲惨な事実を知りながら、核を保有する国があります。各国で平和運動を行っている方々は、被爆者の証言を継承していくことが核廃絶につながるとおっしゃっていました。医療者として目の前の患者さんを守り、核などの健康被害から人々を守る立場から、被爆者の言葉や、今回見て聞いて感じたことを一人でも多くの人に伝えていきたいです。

健和会看護 古田 千穂

平和公園、世界大会など多くのことが印象的でした。本来そのことを挙げるべきですが、あえて偶然立ち寄った諫早市の飲食店での経験を挙げます。夫婦で経営しており二人の親は被爆者で後遺症に苦しんだそうです。『原爆が落とされたのは長崎市だが長崎県全体、日本・世界の問題』だと語ってくれ世界大会参加後のこともあり、この言葉は自分に突き刺さりました。核廃絶は簡単ではありませんが、経験したことを語り核廃絶の運動を広げていくことが大切だと感じました。

健和会事務 寺澤 由弘

かなえ  
ひまわり薬局



患者さんに薬の説明

実習内容は、調剤・処方監査・  
疑義照会・患者さんへ薬の説明  
など、薬局の業務を一通り実践  
しました。在宅訪問と一緒に同  
行して、患者さんのお宅でお薬  
カレンダーへセットすることな  
ども体験しました。かなえひま  
わり薬局だけでは経験できない

これらを通して薬の知  
識を深めるとともに、患  
者さんの対応を自分で考  
えて試行錯誤しながらも段々と  
成長していく姿を見せてくれて  
嬉しく思いました。職員も学生  
と一緒に学ぶことで双方にとっ  
て実りの大きな実習になったと  
思います。この実習を糧に、患  
者さんの思いに寄り添える薬剤  
師になつてほしいです。



調剤室にて



患者宅にて  
薬をカレンダー  
にセット

かなえひまわり薬局

## 3年ぶりに 薬学生の实習 受け入れ

かなえひまわり薬局  
薬剤師 吉川 遼子

薬学部が6年制になり、5年生で病院11  
週間、薬局11週間の実務実習が必須になっ  
ている薬学生の实習受け入れをひまわり薬  
局で3年ぶりに、5月22日から8月4日ま  
で行いました。学生生活の大半がコロナ禍  
で、早期の体験実習ができず今回が初めて  
の臨床経験だったため、最初はとても緊張  
した様子でしたが、積極的に取り組んでく  
れました。

この4年間コロナ感染の影響で職員の班会参加を自粛していましたが、7月より健康友の会事務局以外の職員参加を再開しました。

従来の映像をみる班会も行っていますが、参加職員は、参加職員が専門性を活かした、体操や病態学習、食事指導などをはじめました。気軽にできる体操として、誰もが知るラジオ体操を紹介され、始めたものの分からない部分があり、小学生のラジオ体操に参加し、続けていたら体調が良くなったと話してくれる会員さんがいました。



また、楽しい班会を行いました。また、考え、ボードを使ったゲームで大いに盛り上がり、「こんなにドキドキしたのは久しぶり。楽しかった」などの声も聞かれています。

入職4年目未満の職員は初参加となりましたが、「班会があることで

## 再開 職員の班会参加



「病棟では聞けない地域の生の声を聞けて勉強になった」など感想が聞かれています。参加経験のある中堅職員からは「久しぶりの班会楽しかった。地域住民と距離が近いのが良い」「みんな元気で驚いた」「健和会は地域住民に支えられていると改めて感じた」など聞かれています。

地域住民と職員をつなぐ大切な機会として班会を多くの職員が経験します。伊那谷健康友の会を盛り上げていきます。各所に職員がお邪魔していきますが、よろしく願います。

健康友の会事務局長 寺澤 由弘

10月・11月 共同組織拡大月間  
今年度は各地で中止や規模縮小などで行われなかった地域の文化祭などに積極的に参加していきたいと計画しています。地元職員が参加し友の会とつながり、地域住民と交流ができればと思います。また、コロナ禍で休止してしまっている班へのアプローチを計画しています。

2023年度も半分が過ぎようとしています。今年度、後期高齢者健診（飯田市）を受ける人数が増えてきています。団塊の世代が後期高齢者となってきていることを実感しています。75歳となってもお元気でパワーのある方が多いことも印象的です。逆に若い世代、働き盛りの年代の方たちの元気が無いことも気になっています。どこの企業も人手不足からの過重労働で心身共に疲れてしまっている方が多いように感じます。コロナ禍での生活や物価高も大きく影響しているのでしょうか。疲れて元気が無い時は、睡眠をしっかり取り、自分の好きなことをする時間を作ると良いと思います。皆さんの好きなこと、元気の源は何ですか？



## 手軽に簡単 らくらく レシピ 43

### なすとズッキーニの中華和え

エネルギー量(1人分) 53kcal  
たんぱく質 2.2g / 塩分 0.9g



佐々木 朱美

健和会病院  
健康管理課管理栄養士  
飯田下伊那地域  
糖尿病療養指導士

#### 材料 4-5人分

- なす 3本
- ズッキーニ 1/2本
- えのき 1株
- \*めんつゆ 大さじ1 \*しょうゆ 大さじ1
- \*酢 大さじ2 \*ごま油 大さじ1
- ※お好みでラー油、ごま、大葉等

#### 作り方

- ①なす、ズッキーニは縦半分に切り、2-3mmの薄切りにする。それぞれ耐熱容器に入れて電子レンジで2分加熱する（しんなりする程度）
- ②えのきは石づきを切り、2等分し、ほぐして耐熱容器へ入れて電子レンジで1分半程度加熱する
- ③調味料を合わせ、①②と一緒にボウルに入れて和える
- ④味がなじむまで冷蔵庫で冷やす

## 伊那谷健康友の会 9月10月の予定

### バランスボール班会、筋力アップ体操のお知らせ

● 鼎支部 鼎文化センター  
毎週水曜日 10:00～11:00

● 山本支部 東平防災センター  
9月28日(木) 10:00～11:00  
10月26日(木) 10:00～11:00

● 高森支部 高森公民館  
9月16日(土) 10:00～11:00

● 松尾支部 松尾公民館  
9月10日(月) 10:30～11:30  
10月23日(月) 10:30～11:30

● かやの木筋力アップ体操 かやの木診療所  
9月13日(水) 16:00～17:00  
10月11日(水) 16:00～17:00

■ バランスボール交流会  
10月21日(土) 10時から 鼎公民館  
インストラクターを招いてバランスボール交流会を開催します。

■ 鼎支部 ポッチャ教室  
9月25日(月) 14時30分から  
健和会病院6・7会議室

問い合わせ先  
伊那谷健康友の会事務局 0265-53-7252

## 健康まつり

2023年10月22日(日) 13時00分開始(予定)

場所\* 健和会病院

医療講演・健康チェック・体力測定  
などを予定しています。

マイナナンバーカードに他人の情報が登録されたり、受診時に本人確認ができなかったり、健康保険証とマイナナンバーカードの自己負担割合が違うなどのトラブルが相次ぎ明らかになり、各種の世論調査は2024年秋に健康保険証を廃止することに対し、反対

が賛成を大きく上回っています。しかし、政府は多くの国民の懸念や不安を無視し、資格認定は申請者のみだったものを全員に発行する。有効期間を1年から5年に延ばすなどの一時しのぎの対応策を掲げるのみで、いまだ廃止の方針に固執しています。



健康保険証を  
なくさないで!

請願署名に  
ご協力を!



これらの問題は、現行の健康保険証を残すことが解決策です。

患者さんや利用者さんだけでなく、医療・介護現場にも混乱をもたらす「健康保険証の廃止」に対し、飯伊民医連は「現行の健康保険証を残してください」の請願署名に取組みます。

※同封した請願署名にご協力  
お願いたします。

※同封した返信用封筒をお使  
い下さい。

飯伊民医連事務局次長  
唐澤 一夫

## 手術室の BGM

形成外科  
矢高 森人



当院の手術室では、手術中にBGMを流しています。有線放送なのでチャンネル数が多く、幅広いジャンルの音楽が網羅されています。

形成外科では局所麻酔手術の際に「お琴の調べ(J-POP ヒッツ)」を流しています。聞き馴染みのある歌謡曲・ポップスが、琴を中心にキーボード、ヴァイオリンなどを交えて心地よく落ち着いた雰囲気仕上げられていて、患者さんもリラックスできるものと思っています。実際に術中、ウトウトしていらつしやる方も少なくありません。

また、若い方の場合には「週間USEN H I T J - P O P ランキング」、海外出身の方には母国の音楽、といった具合に選んで流すこともあります。一方、全身麻酔手術の場合には、手術担当医の好みの音楽

が流されます。術者がリラックスしつつ集中力を高めるのが目的です。それぞれの医師でチャンネルが決まっているので、手術室の扉を開けると誰が手術をしているのかすぐわかります。H先生は「ファンシー・オルゴール」(穏やかです)、T先生は「クラシック・ピアノ」(格調高い)、A先生は「ハートフル・ストリングス」(ヴァイオリン弾きです)。いずれにしても、さすがジェントルな健和会外科の先生方ならではの選曲です。

私ですか? 全身麻酔手術の時はもちろんクラシック: ではありません。「サンバ」か「ボサ・ノヴァ」、実はラテンのノリだったりします。

# 読者の声 & パズル

**\*パズル** 郵便はがきに住所、氏名、解答を書いてお送りください。  
 正解者には記念品(図書券)をお届けします。(締め切りは9月末日必着 正解者多数の場合は抽選)  
**\*本誌のご感想、ご意見**をお書き添えください。本誌に掲載させていただく場合もあります。  
 匿名希望者はペンネームをお書きください。  
**[宛先]** 〒395-0801 飯田市鼎中平 1905-5 飯伊民医連

## 読者の声

### 貼り絵

デイケアに通う、みなさんの心のこもった作品でしょうか、大作です。はやしの杜でお世話になっていた母が亡くなり、先日7回忌を迎えました。毎週母の様子を見にはやしの杜に行かせていただき、小高い山の上から見る景色が楽しみでした。まさしくこの貼り絵のごときでした。その節は大変お世話になりました。(メロス)



健和会病院デイケア作品

雪を頂く高い山もさることながら、広く明るい景色こそが伊那谷の魅力だと思います。わが家近くの橋も描かれていて嬉しいです。(湯浅真人)

**最近「A」をよく耳にします**  
 便利な面はあるのでしようがアナログ人間の私としては、人としての医師と顔

を合わせ話をできることが心の安らぎになります。(吉川隆幸)

### 「希望の光を求めて」

あたり前に食べているけど、急にできなくなり死という文字が近くなるんだと感じた。しかし、本人の努力、まわりのサポートでこの方のように回復する可能性があるかと知り驚きました。(シャープペン)

驚愕しました。本人はも

ちろん、ご家族の方は感謝だったと存じます。憲法川柳も同感のことばかりです。(洞のお婆)

### 75歳以上の医療費値上げのアンケートの結果から

「いつでも、どこでも、誰もが安心できる良い医療と福祉を受けられるようにするべき」とありました。私も同感です。窓口2割化中止署名たくさん集まりました。すように。(山の白うさぎ)

## クロスワードパズル

飯伊民医連

1	2		3		4
		C		E	
5		6			A
7					
				8	
9					B
解答					
A	B	C	D	E	

### タテのカギ

- 物を貼り付けるのに使う粘り気のあるもの。
- 木で作った刀。切れない。
- ある目的のために人や物をかり集めること。
- その家の名前。姓。
- 権力者や身分の高い人のそばに仕える人。
- 思ったことや感じたことを文字で書き表したものだ。

### ヨコのカギ

- 一枚板に足を固定させて雪の上を滑ります。
- 表示価格に消費税が含まれていないこと。
- 腰の痛み。
- 土地そのものが下に沈みます。

7月号の解答「ガクリョク」  
 7月号の当選者「たぐさん」の方に応募いただきました。  
 正解者の中から抽選で次の方々に図書券をお送りいたします。  
 ゴーヤ／岩崎静／うば／後藤俊輔／69才の母

飯伊民医連だより

9

No.250  
 改題 第103号

発行 飯伊民医連 長野県民主医療機関連合会飯伊地域連絡会  
 〒395-0801 長野県飯田市鼎中平 1905-5  
 Tel 0265 (52) 5490 Fax 0265 (52) 5491

編集 機関誌編集委員会  
 発行責任者 織野 孝司  
 編集委員長 唐澤 一夫